

# 安曇野で活動 インタビュー

今回は、安曇野市が進める里山整備プロジェクトいわゆる「さとぶろ。」の木質バイオマス利用促進プロジェクトに所属する樹楽会（きらくかい）の活動をご紹介します。樹楽会は、メンバーが実際に荒廃した里山に入り、整備をして出た木を薪として活用するという循環型の活動をしている有志団体です。現在、明科潮沢から奥に入った山中にある『天田山神社』の整備活用を手掛けているということです。

## ・Q1.どんな活動をしていますか？

☞ 天田山神社は歴史が古く、江戸時代の建立ですが、住民が住まなくなり、二十年以上も放置されていました。私達は、里山での無事故への感謝と文化財保護の気持ちを込めて、境内や参道の藪や雑木を払い、社殿を大掃除しました。ところが社殿脇の松枯れ大木が社殿を損壊する恐れがあり、自分たちでは伐採困難でした。行政や各種補助金を頼みにしましたがうまくいかず、雪が降る前に解決する必要ありと判断し、薪の頒布で得た会の活動資金を充てて特殊伐採のプロに頼み除去しました。当面、社殿倒壊の恐れはなくなりました。

## ・Q2.どんな思いで活動に取り組んでいますか？

☞ 山仕事は、作業した結果が眼前に展開されます。藪や雑木、倒木で鬱蒼として空も見えない森が、作業により、地面に日が差す様になった光景を見ると何とも言えない充実感を覚えます。山主さんから感謝の言葉を頂くと、我々も役に立てたと嬉しい気持ちに浸ります。キツイ作業ですが皆楽しんで活動しています。藪や雑木に覆われていた天田山神社は、かつて桜の名所で、安曇野と北アルプスが展望できる絶景ポイントです。整備して新たに桜の苗木を植樹しました。桜の公園となり、市民の憩いの場所となる事を望んでいます。

## ・Q3.今後の展望はありますか？

☞ 人手が入らなくなり荒れた山林が多くなっています。一方で薪ストーブユーザーは増えているのですが、薪の調達は順調とは言えません。整備したい山主さんと、スキルを持ったボランティア団体が繋がる事により、専門業者が入らない山も再生し、資源の有効活用や癒しの場となっていくと思います。

今回のインタビューは、有志団体「樹楽会」リーダーの渡辺晃さんにお聞きしました。



樹楽会が手掛けた天田山神社の整備の様子、風景

# 安曇野さんさん通信 第10号

(2020(令和2)年2月20日発行)



## ごあいさつ

立春を迎えましたが、皆さまお変わりなくお過ごしでしょうか。今年はこれまで経験のない暖かな冬で、身体は楽でしたが、降雪量も少なく夏場の水不足が心配です。地球温暖化が気候変動を引き起こしていると言われて、災害や生態系への影響等の懸念から、私たちの少々便利過ぎる生活を見直さないといけない時期にきているのかもしれない。

さて今年、安曇野市制施行15年の節目を迎えます。祝賀に相応しく、オリンピック聖火リレー、日展巡回展、日本現代工芸美術展巡回展等の全国規模のイベントが目白押しで楽しみな1年ですね。

日頃からの皆さまの温かなご支援に心から感謝申し上げます。引き続き、どうぞ宜しくお願い致します。



## 「安曇野、よいまちつくろう」

安曇野の課題を深掘りし、発信します。今回は身近なトピックより。

### 政和会活動報告会会 (1月13日) ...

安曇野市議会で所属している会派「政和会」の活動報告会を昨年引き続き1月に行いました。所属議員より、1年間の議会での動きや陳情等への対応状況、視察研修など報告しました。引き続いての意見交換の時間では、「地域公共交通の利便性向上」「免許返納への対応」「独居高齢者へのケア」「安曇野市のイメージアップや発信の工夫」「穂高駅周辺の駐車場整備」など多くのご意見を頂きました。

会派や議会全体の力を結集して、より市民の皆さまの声を反映できる安曇野市を目指して、鋭意努力してまいります。引き続き皆さまにはご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

### 日展「安曇野展」開催迫る (4月25日(土)～5月17日(日))

4月3日の聖火リレー出発地点となる豊科近代美術館では、日本美術界(日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書の5部門)の最高峰である日展の巡回展が開催されます。市制15周年記念も兼ねて、市も積極的に宣伝しています。日展(東京)後に行なわれる巡回展は、これまで政令指定都市か県庁所在地等の大都市での開催のみで、本市のような10万人ほどの都市での開催は初の試みとのこと。今年は6都市巡回で、京都、名古屋、大阪、金沢、長崎と並ぶ、大変貴重な機会です。

荻原碌山、高橋節郎といった芸術界の礎を築いた安曇野ゆかりの芸術家の存在も改めてクローズアップされています。スポーツでいえば国体クラスともいえる、この美術展に、ぜひ多くの方に足を運んで頂き、芸術の息づく安曇野を改めて感じて頂けたらと思います。



発行 小林ようこ後援会 安曇野市穂高 8108 番地 TEL 0263-82-6090

e-mail [yoko@sunnydayazumino.com](mailto:yoko@sunnydayazumino.com)

URL <http://www.sunnydayazumino.com/> Facebook「小林ようこを応援しよう」